

# こんにちは 日本共産党県議団です

## 災害の復旧・復興、県民の切実な要望実現へ

### 知事に2020年度の予算要望

◆要望書は日本共産党長野県議団のホームページでご覧ください。

党県議団は、阿部守一知事に来年度の県予算要望を行い、台風19号の被災者が一日も早く安心な生活と生業を取り戻せるよう復旧・復興・被災者支援を要望しました。

県議団の毛利栄子団長、高村京子、和田明子、両角友成、山口典久の各氏が参加しました。

毛利団長は16の重点項目と259の個別項目の要望を紹介し、「県民の切実な要望を受けとめ新年度予算にぜひ生かしていただきたい」と述べました。

県が発災直後から人命第一で救援にあたり、避難所の環境改善や災害ゴミの撤去、借り上げ住宅やみなし仮設の提供、国の制度ではカバーできない支援制度や見舞金、家電4品の支給など迅速に対応してきたことを歓迎。その上で、大量の泥や被災家屋のガレキの撤去がまだまだ続いており、被災者に寄り添い、求められている支援はすべてやる立場で知恵と力を尽くしてほしい



と要望しました。国の被災者生活再建支援制度の拡充や内水氾濫の検証、総合治水の検討も求めました。また、「県知事として消費税引き下げを国に働きかけてほしい」と要望しました。

阿部知事は懇談の中で、地方分権と言いながら国の予算づけは地方の裁量権を狭める方向ですすんでいることに触れ、「共産

党の皆さんには国会でも議論を深めて欲しい」と語りました。

公立高校の入試改革については、実施時期もふくめて慎重な対応を答弁。性の多様性を尊重する取り組みについては、県が率先してとりくみ、ガイドラインを作成中であると答えました。



党県議団は、藤野保史衆院議員、武田良介参院議員らの国会議員や市町村議員などと連携して、現地調査を行い被災者の願い実現で活動しました。(右)は長野市内、(左)は上田市内の被災現場

### 「県議会棟は全面禁煙に」の陳情

#### 日本共産党は賛成討論

県議会棟の全面禁煙を求める陳情に党県議は賛成討論しました。

改正健康増進法で、議会は喫煙専用室が設置できますが、すでに24都府県は全面禁煙です。この際長野県も全面禁煙にと主張しましたが、賛成少数で否決されました。

### 養豚農家が安心できる経営へ

#### 豚コレラのワクチン接種を実施

国の豚コレラ(CSF)予防的ワクチン接種を可能とする方針により、県は感染拡大の防止と養豚農家の経営継続にむけたワクチン接種を初回分で83農場、5万7千頭余の豚に実施。また、野生イノシシへの経口ワクチン散布を37市町村に約2万9千個を散布しました。

本県議会では、慢性的な獣医師不足で豚

コレラ等への対応が難しくなっているため、獣医師確保に向けて県採用の獣医師に採用後15年間、「初任給調整手当」を支給する待遇改善の条例を可決しました。

党県議団は、豚コレラの侵入経路の解明や2回目のワクチン接種への補助、被害農家の経営継続への支援強化などを要望しています。

## 日本共産党県議会報告

No. 3 2020年1月【2019年11月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行/日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室  
TEL 026-237-6266 (直通) FAX 026-237-6322  
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

